



力をあわせて 優勝だ!! (田代西部地区のみなさん) 11月20日(日) 第10回町民スポーツ大会

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

総合計画策定の条例化へ	2
一般質問3人が登壇	4
耕作放棄地で発電を	9
レタスで年収2,500万	11



10月定例議会

総合計画策定の条例化へ！

議会基本条例の一部改正も!!

10月13日(木) 10時から開いた。今回は執行部から専決処分の報告1件、条例案3件、一般会計補正予算が上程された。また、議会から議会基本条例の一部改正を上程した。すべて全会一致で可決した。

◆工事請負の変更契約

町道北園有水線の工事で264万7,520円の増額の変更契約を行った。

沖議員 計画変更の理由は何か。

松岡建設課長 工事中に岩盤の位置が変わった事と舗装工事の追加が原因。

沖議員 設計の時点でわかったのではないか。

松岡課長 設計の段階で調査を行ったが岩盤が確認できない箇所があり工事を進める中でわかった。

沖議員 アスファルト舗装は最初からわかっていたのではないか。

松岡課長 工事の施工の段階で3～6工区において工事の施工箇所以外でアスファルト面の不備な箇所が見つかった。

◆総合計画策定条例の制定

可決

竹下総務課長 地方自治法の改正により総合計画策定義務が撤廃された。しかし、地方分権が叫ばれるなか、町の総合的な計画は必要であるので、総合計画策定条例を上程する。今回の条例で基本構想及び基本計画は議会の議決を求める。

福永議員 基本構想、基本計画、実施計画この3つが総合計画である。実施計画は個々の事業をする為の事業計画であるのか。

野口企画財政課長 予算を裏づけした形で3年間を期間とし1年ごとに財政状況を見ながら実施計画を見直していく。

佐藤議員 総合計画はこれまでと同じ期間とするのか。議員、町長は4年の任期。総合計画も8年とした方がよいのではないか。初年度も24年度からとし、改選後も継続ある総

合計画とすべきではないか。

山本町長 これまでの総合計画は10年だったが8年構想が良いと思っている。24年度から27年度の4年間、28年度から31年度にしたほうが良いのではないか。再度確認し報告する。

田端議員 首長が誰になろうとも基本構想10年間の筋論は変えないほうがいいのではないか。

町民会議で町民の意見も取り入れるとのことだが、この前の一般質問後、町民会議の会合はあったのか。町民会議、審議会すべて経てきた後、最終的に議会で検討するには時間が足りないのではないか。

野口課長 総合計画の策定の現状は素案を作成中である。各課長、係長、担当者レベルまで落として充実させる。町民会議は今まで4回行っている。また、近日中に町民会議を開催する予定である。

山本町長 審議会は町長の諮問機関になる。町長部局が計画したものを審議会で審議し答申をもらうが、事前の調整が大事である。議員には説明、意見を聞きながら議決を頂く。正式には文書で議長に事前提出し、答えることを検討中である。

◆下水道条例の一部改正

可決

◆御船町収入印紙等購入基金条例の制定

可決

竹下総務課長 昨年7月20日に熊本地方税務局御船支局の廃止により、利用者であった町民また商工会から不便になったと声があった。法務局跡地は11月初旬の予定で自動交付機の設置に取り組んでいる。町は、印紙の売りさばき場を設ける。基金の額は100万円を基礎とした運

営で行う。

沖議員 上益城全体で印紙条例をつくるのか。

竹下課長 御船町で基金条例を策定し、運用していく。

佐藤議員 利用者の利便性が高まった。どれくらいの利用者がいるか。

竹下課長 設置においては稼働率が重要となる。経費が500～600万円程度に見合うだけの売り上げがあれば継続できる。採算は取れると聞いている。

福永議員 自動交付機に人をつけて購入方法など取扱説明者は何名か。

竹下課長 町は収入印紙を売りさばく人員を考えている。法務局の業務は法務局が委託すると聞いている。



新しい法務局 笑顔でお出迎え

◆一般会計補正予算(第10号)

可決

繰越金の増額補正、諸収入の減額補正。差し引き388,000円の増となる。

◆議員提案 御船町議会基本条例一部改正

可決

地方自治法の改正により、市町村の基本構想作成の義務が廃止された。今回、町執行部より御船町総合計画策定条例が提出されたことに伴い基本構想を議決事件に追加する。

議 長 報 告

議会運営委員会を9月29日に開いた。各種案件、定例会10月会議の進行等について協議し、議事日程は、10月13日の1日間と決定した。

全員協議会を10月5日に開き、各種案件について協議を行った。

9月26日から28日にかけて議員研修会を行った。

10月4日開催の上益城郡議長において、上益城郡町議会議員研修及び親善スポーツ大会を11月11日に御船町で開催することにした。

視察受け入れは、10月12日に福岡県福津市議会、大津町協働の会の研修を受け入れた。議会活性化の取り組みや、議会基本条例などについて、意見交換を行った。

組合議会は、御船地区衛生施設組合議会が開催された。



ワンバウンドふらば～るボールバレーで健康づくり

御船の宝

町内保育園の運動会が、10月2日（日）に開催された。

運動会には絶好の天気で、園児たちは、元気に、かけっこやダンス、親子競技など、これまで練習してきたことを精一杯、会場の皆様に披露し、温かい拍手が、グラウンド一杯に響いた。



負けるもんか!!(若葉保育園)

大事な交付金

平成19年度から実施してきた「農地・水・環境保全向上対策」は、平成23年度から「農地・水保全管理支払交付金」として名称を変え支援を拡充している。

この事業は、活動組織が地域共同で行う農地、水路等の資源の日常の管理と農村環境の向上に資する活動及び水路、農道、ため池等の補修や更新、施設の長寿命化のための活動である。

御船町においては、23年度より新規8地区を含め19地区が取り組んでいる。



今城区の用水路清掃(交付金事業)

自然災害

6月10日から7月8日にかけての梅雨前線豪雨により発生した公共土木災害について、8月8日の第2次から9月8日の第4次により災害査定が終了した。

今後の予定は、11月に工事を発注し、来年2月頃にはすべての工事を終了する予定である。

行 政 報 告

秋の交通安全運動

9月21日から30日までの10日間、「子どもと高齢者の交通事故防止」を全国運動の基本として、秋の全国交通安全運動が展開された。

老人会をはじめ各種団体、町職員等による、児童生徒の登校時の街頭指導を行い、事故防止に努めた。

健康、いきいき御船町

9月23日に、町体育指導委員協議会主催によるワンバウンドふらば～るボールバレー大会がスポーツセンターで開催され、各地区から17チーム約120名の参加があり白熱した試合が展開された。9月30日「第53回熊本日日新聞社金婚夫婦表彰状伝達式」があり、本年度は、75組のご夫妻が金婚式を迎えられた。10月4日、100歳到達者の巡回訪問を実施した。本年度の該当者は7名であった。

10月の議会の動き

- | | | | |
|-----|---|-----|----------------------------------|
| 4日 | 上益城郡議長会 | 15日 | 熊本県人権教育研修会 |
| 5日 | 議会改革推進特別委員会・
全員協議会・
広報委員会 | 19日 | 香川県小豆島町議会・
新潟県出雲崎町議会
視察受入れ |
| 11日 | 御船町衛生施設組合議会 | 21日 | 宮崎県児湯郡議長会研修 |
| 12日 | 小川御船線要望活動・
大津町協働の会、
福岡県福津市議会視察受入れ | 24日 | 議会改革推進特別委員会・
あおぞら会議 |
| 13日 | 議会・
広報委員会 | 25日 | 議会運営委員会視察研修
(～26日) |
| | | 27日 | 埼玉県戸田市議会・
石川県津幡町議会視察受入れ |



Q 新しい施設の駐車場はどうするのか

A まずは現スペースで！

田上 忍 議員

田上議員 御船町では恐竜博物館、ふるさとふれあい館など新しい施設が計画されている。今でもイベント開催時は駐車場が少なく停められない状態であるが今後、この駐車場についてはどうするのか。

山本町長 庁舎等施設利用検討委員会を9月に設置した。この委員会を活用して住民の意見や各種団体の意見を聞いて検討していく。第一点目として現在の駐車場スペースで利用できないか、また今後の申請による川街づくりによる御船川整備で新設できないか。第二点目として役場周辺に駐車スペースがないのか、こちらは財源も必要であり持ち主との調整も必要になってくる。この二点を中心に検討していく。

イベントの開催時の一時的に車が多い場合の対応は検討委員会で意見を出してもらう。マニフェストにも掲げている「健康いきいき御船町」もテーマに掲げながらやっていく。職員についても駐車スペースが少なから乗ってくるのではなく、いろんな視点から職員間からも提案を募集していきたい。また議会の提案や住民の意見も聞きたい。

中心市街地のハード整備は平成25年度まで事業がかかるので、恐竜博物館がオープンする26年度までには方向性を出したい。

田上議員 御船町の駐車スペースは現在、役場周辺に約400台。ここに職員や公用車は何台駐車しているか。民間であれば従業員は少し離れた駐車場や公共の交通機関を利用し、利便性のある駐車場はお客様用である。今後新たな施設ができて、観光客も増えると思うが、役場職員・議員の駐車場はどのように考えるか。

竹下総務課長 職員156台、公用車35台で計191台駐車している。本町は、平成4年度を境に役場周辺に公共施設が建設されてきた。しかし、駐車場は約200台の整備が行われたにすぎず、昭和の時代からすると自家用車通勤の職員も増加し職員の占める割合が増加した。今後シンボルロードを中心として、ふれあい広場、恐竜博物館、観光交流センター、子育てふれあい館と整備、建設が予定されており、抜本的な対策が必要になってくる。現在、駐車場等の諸問題の検討委員会を立ち上げるため御船町庁舎等施設利用検討委員会設置要綱を制定しており、今後、既存の駐車場を基本として、駐車場問題を検討していく。



庁舎北側の職員、公用車用駐車場

田上議員 大型バスの受け入れについてはどう考えるか。

竹下課長 現在も大型バス利用が行われているが、新たな恐竜博物館がオープンすると大型バス利用者の増加が予想される。町では、博物館に車寄せのスペースを確保し、下車後は、ふれあい広場或いは、カルチャーセンター東側駐車場等に待機を考えている。現在整備中のふれあい広場、恐竜博物館、観光交流センターから

少し足を延ばし御船川左岸への流れを作り、街なかギャラリーへと繋げていく方策にもなると考える。この件についても検討委員会で十分議論をしていく。



道路が整備され大型バスの駐車が可能になったカルチャーセンター横

田上議員 役場周辺に新たな駐車場建設は難しい。民間の既存施設との提携などは考えているか。

竹下課長 民間既存施設との連携は現在、役場東側にある民間会社の駐車場を活用しており、今後は、街なかギャラリーを中心とした御船町左岸でも民間既存施設の活用を視野に入れ検討を行う。

田上議員 今ある駐車場の有効利用と民間との連携、そして新たな駐車場確保などを的確に考え、たくさんの観光客が御船町へ来てくれることを望む。

まだ、どれだけの観光客が来られるのかは未知数なので観光客数や駐車場の利用状況を見ながら今後の展開を考えてもよいのではないかな。

最初から全てを用意する必要はないと思う。まずは現状を把握し職員をはじめとした町民から良い提案がされることを期待する。

Q 設計変更は品質の低下にならぬか

A 品質の低下にはつながらない

藤川 博和 議員



一般質問

藤川議員 9月決算議会で小学校・中学校の耐震工事の状況について質問した。御船中学校耐震工事の防壁工事内訳書について、御船中学校外壁に設計変更が行われるかと尋ねたら、米満教育課長の回答は「設計変更がある」と答弁された。設計変更することにより品質低下に繋がり、後々に問題が起らないか問う。

米満学校教育課長 9月の決算議会で私が「塗装の工法を変更しました」と答弁した。決裁も受けてない内容であり、変更する計画で進めているに訂正したい。お詫び申し上げる。

この設計は、公共建築改修工事標準仕様書に基づき行っており、熊本県建築課の営繕室の審査を受けてのものであるから、品質低下にはつながらない考える。

思っている。やはり子どもの教育環境を考えると、最大限配慮をしなければいけない。今回の工事は私が着任前に決まっていたことではあるが、当然、前教育長や教育委員会のほうでも十分検討された事と理解している。

藤川議員 21年度に計画が出来上がって、県に交付金申請される。交付金が承認されたのを確認したのは、いつ頃か。

米満課長 6月・11月・2月の年に3回建築計画の申請が可能だ。建築計画で中学校の件は、昨年の6月に計画をあげている。

藤川議員 昨年6月に手を挙げて、交付金はいつ承認されたのか。

米満課長 正確な期日は覚えてないが、今年の7月頃だと思う。

頃に議会承認を得た。

藤川議員 課長は交付金の県の認可が7月と言われた。予算は6月に承認されている。

米満課長 予算がないと事業ができないので、予算だけは前もって確保している。

藤川議員 という事は、県の交付金の認可が下りる前に、議会承認を得たということか。もし県の認可が下りなかったら、計画は破綻だったという事か。

米満課長 はい。そうだが、事前に県とも情報交換して、文科省の動きを探っている。内示を前提に予算措置をしている。

藤川議員 だとすれば、夏休みに一応交付金が認可される事を前提に、地元の業者で入札しなかったのか。

米満課長 審査・推薦する際に、総務課とも協議して事前協議を行った。

藤川議員 この承認が下りるまでは地元の業者並びに入札のことは全く考えていなかったのか。地元の業者で計画はあったのか。

竹下総務課長 この工事は前年度に手を挙げて、後付け予算を付ける。今年度は統一地方選挙の年で、当初予算に入れることができず、6月の骨格予算に入れたというのが経緯である。

藤川議員 外壁工事において、全面はぎ取りから部分はぎ取り変更になった経緯の説明と、品質低下について質問する。

米満課長 前述通り、まだ計画中であり決裁も下りていないので答弁を控える。また、ひび割れ増については21年度の調査時点では2階部分と3階部分の劣化状況が把握できなかった。



耐震補強や外壁塗装が進む中学校 10月8日撮影

藤川議員 中学校の2学期に工事が行われている。2学期は3年生にとって高校受験に大事な時期だ。この工事で3年生は高校の受験勉強に影響ないか。

増永教育長 本当に、私も心苦しく

藤川議員 今課長は今年の6月か7月に交付金の認可が下りたといわれた。

米満課長 その認可を受けて7月26日に入札を行っている。入札の結果、新規建設が落札し、8月1日

一般質問



Q 事務量削減や支援員の増員等で、先生方が子供と向き合う時間を増やすべき

A 現場の問題点は認識しているので、対応を検討する

福永 啓 議員

公道にはみ出した草木について

福永議員 現在、町はどのように対処しているのか。

松岡建設課長 地域住民の方々の要請により、地権者の了承を得ながらその都度対処している。

福永議員 どの町でも対応に苦慮している問題である。

今、まちづくり交付金事業等大型公共事業計画が進んでいる。街の環境を大きく変えていく計画でもあるので、環境基本条例等基本的な指針や基準が必要ではないか。

松岡課長 現在、条例制定等の具体的計画はないが、県でも条例や基準等の制定作業を進めているとのことなので、今後そのような条例や基準を設けることも検討課題になってくると思う。

街路樹について

福永議員 シンボルロードを桜並木にする計画があると聞いたが樹木選定の経緯は？

松岡課長 シンボルロード検討委員会で桜という意見が一番多かったものでそれを尊重した。

福永議員 すでに桜並木がある他市町村に桜並木の問題点等について問い合わせたか。他市町村はどのように答えたか。

松岡課長 熊本市に問い合わせた。桜の寿命は40年から50年で30年に一度は植え替えが必要とのことだった。また、木が大きくなると根がはって地面が浮くという問題点もある。

福永議員 私も桜並木を管理している熊本市、大津町、甲府市などに問い合わせた。

そこで聞いた問題点は、課長が答えた問題点の他に、毛虫の大量発生、



御船の明日を担う、子供たちの笑顔のために

定期的な消毒の必要性、枝が横に張るので道路にかかり車との接触事故が起こりやすい、ウイルス感染しやすいので剪定が難しいなど、管理が難しい樹木であるということだった。景観については、桜の季節は大変美しいが、季節を過ぎるとみすぼらしくなるということもある。

桜並木を見直す考えはないか。

松岡課長 検討委員会の意見なので、見直しは難しい。

福永議員 検討委員会には、植え替えの費用や消毒剪定など維持管理の費用を示したのか。

松岡課長 具体的な数字は示していない。

福永議員 データを示さなければ正しい検討は難しい。メリット・デメリットを正確に示した上での検討が必要。シンボルロードを並木道にする場合、町内で初めて町が管理する並木道になる。樹木選定は慎重に検討すべき。

松岡課長 内部であらためて調査、検討をしたい。

御船町の教育について

福永議員 教育の役割をどのように考えるか。

増永教育長 「人づくりはまちづくり」と考えている。人格の完成を目

指するのが教育の目的である。

福永議員 教育現場では先生方の事務量が増え、子供たちと向き合う時間が減ってきている。

先生方が子供たちと向き合う時間を増やしていくためにも、事務量の削減と共に、支援員等の増員が必要ではないか。

増永教育長 現場の問題点は認識している。事務量の削減は現在進められている。国や県の制度を利用して職員等の増員をはかり、不十分なときは町独自の支援員等の配置も検討する。

福永議員 昨年度は学校教育に関して、使われず余った予算が多額にある。学校の先生方が、努力して節約された分は、翌年度の予算に反映することはできないか。また、予算の使い道に関しても、細かく指定されており柔軟性がない。予算の使い道にもう少し柔軟性をもたせられないか。

野口企画財政課長 余った予算に関して、翌年度に反映させる様にはなっていない。

山本町長 予算に関して、手間隙かけて細目をどうするか、というのが職員の仕事でもある。理解はできるが、新教育長の元、協議検討の上予算を組んでいきたい。

更なる議会改革にむけて

議会運営委員会研修報告

委員長 田中隆敏

10月25日(火)～26日(水)にかけて行った。1日目は元鹿児島県町村議会議長会事務局長の池田正夫さんから議会運営委員会の役割について指導を受けた。2日目は相良村議会のインターネット中継の研修を行った。

勇気と奮起が政治家の要素

御船町議会6月会議録を事前チェックをしてもらい、会議録150ページがことこまかに指摘されていた。

「議会基本条例を制定した先進町議会にふさわしい御船町議会づくりの構想を議会運営委員会を中心に描き、その実現に努力する考えは」のご挨拶があり緊張の始まりとなった。会議録の議員、執行部の発言が黒塗りになる程チェックがされていた。本会議で発言する言葉の使い方、むだな言葉が多い丁寧語などだらだら発言でなく、すべての発言が簡明が大事であると指導された。議員にとって檯舞台である一般質問は最終

日でなく会期のはじめに行うのが筋であると助言。質疑やお願いの一般質問とならないよう本会議に議員必携、会議規則、申し合わせ事項等を持参し臨むべきであると指導された。

チェックされた会議録を見ると的確な発言はむしろ少ないが努力すべきと感じた。



議会のインターネット中継の説明を受ける
…10月26日 相良村議会にて

運用業務保守委託料

(月額 141,750円)

議会議中継システムのカメラが採決の時全議員の賛否が見えるよう、ライブ中継だけでなく録画も視聴できる体制を整えた議会であった。

取組みについては平成21年3月の定例会で庁舎モニターや村内テレビ放送はできないか論議され、23年3月から議会のライブ中継を始めたが、村民からライブ中継だけでなく、録画配信の要望があり23年9月定例会で改修予算を可決し改修を進めている。村民に新しい情報を提供するために議会の翌日の夕方には公開されると聞き驚いた。

中継で賛否見える相良村

26日は、議会がより身近なものとなり開かれた行政となるよう、インターネット、村民ホールにて議会議中継を始めた相良村議会にて研修を行った。

導入時の経費

(1,892,000円)

交付金



会議録や広報誌を丹念にチェックされ、アドバイスを受ける
…10月25日 講師池田正夫先生(正面)

第13回全員協議会報告

10月5日開催

町長あいさつ

敬老の日を記念し10月4日、百歳到達者7名に内閣総理大臣から表彰状を伝達しに行ってきた。これからも健康長寿のまちづくりをしていきたい。

議会報告会の質疑の回答書

8月に各地区で開催された住民参加の議会報告会の最終報告書を取りまとめた。報告書は各区長に一部づつ配布する。また情報公開コーナーに閲覧用としてファイルして置く。

お詫びと訂正

あおぞら21第57号13ページの全員協議会報告の中で「報告・協議事項」の郵政民営化の見直しに関する請願の記事は「総務常任委員会 池田浩二委員長」の委員会報告でした。

視察受け入れ相次ぐ

福岡県福津市議会 熊本県大津町協同の会

総務常任委員会

委員長 池田 浩二

10月12日(水) 福津市議会議長、議会改革調査特別委員会11名、事務局3名、大津町協同の会会長はじめ10名を総務常任委員会で対応。

基本条例制定までをパワーポイントで説明後、議会活性化について、議会報告会、通年議会、議会だより、議会モニター、議会アドバイザーあおぞら会議等活発な意見交換をおこなった。



活発な意見交換が行われた

新潟県出雲崎町議会 香川県小豆島町議会

産業建設常任委員会

委員長 吉村 公一

10月19日(水)に受け入れた。

研修内容は議会活性化の取組みについて行われ、議会モニターの選定の仕方や議会基本条例制定、通年議会での良かった点および悪かった点などの質問を受けた。また、議会広報についての質問も受けた。

視察に来られた市町村の議会活性化に繋がれば良いと感じた。



毎月発行の議会広報にも多くの質問があった

埼玉県戸田市議会 石川県津幡町議会

民生文教常任委員会

委員長 佐藤 俊明

10月27日(木)に受け入れた。

津幡町議会は、来年4月から通年議会を取り入れたいということであった。戸田市議会からは30代の議員2人の参加もあった。質疑は住民参加をいかにやっていくかということに集中した。

議員定数や報酬の意見交換も行った。今後の御船町議会の改革にも参考にしたい。



住民参加をいかにするかで白熱をおびた

議員1人削減で369万円の減

議会改革推進特別委員会 報告

委員長 井本 昭光

10月24日(月)に第6回議会改革推進特別委員会が行われた。

まず、議員定数について審議された。

平成16年の合併問題時に行政改革が行われ当時20人の議員を16人、14人に削減する話があり議会側は16人と決定しその後も14人の審議は進めていく、と約束した。

今回の選挙では議員削減の審議が遅くなったので定員16人で選挙を行った。

削減する理由を明確化し、説明する必要がある。これが一番大切ではないか。

議員定員を12人、14人、15人の3案に決定した。常任委員会、3委員会を1つの委員会を合併し2委員会とする案を検討。

また、議員報酬の件、政務調査費の件も審議された。

議員1人削減で約3,690,000円、となる。

政務調査費に関しては月に2万円とすれば、1人削減の金額の範囲でできる。また、政務調査に関しては議員個人の勉強会をする必要がある。

報酬に関しては様々な意見を考慮しながら進めていかなければならない。これから、若い人たちが議員に立候補できるような態勢を作っておく事も大事である。

今後は、今までの経緯、削減理由を文章で作成し、常任委員会の数や報酬問題、政務調査費問題など考えていく必要がある。

11月24日～25日に議員削減した福岡県に研修に行く。その研修を経て12月の全員協議会で議員定数案を上程することとした。

御船地区衛生施設組合 議会報告

池田 浩二

10月11日(火)午後3時30分より御船地区衛生施設組合会議室において平成23年度第2回組合議会定例会を開会。

認定第1号 認定

一般会計歳入歳出決算書

歳入	203,025,497円
歳出	189,489,858円
差引残額	13,535,858円

議案第4号 可決

職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正する条例の制定について

議案第5号 可決

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第6号 可決

平成23年度一般会計補正予算(第1号)

総務監理費 5,535,000円

耕作放棄地で発電を！

～農業委員会と意見交換～

10月24日(月) 16時から庁舎3階大会議室で開いた。

農業委員会との意見交換会は平成20年7月に第1回が開催されて以来である。

内容は以下5項目についての検討である。

あおぞら会議とは!!

町民からなるグループや団体から提案されたテーマに基づき意見交換を行うもの。お申し込みは議会事務局まで。

☎ 282-1386

1) 農業振興策は

御船町の平坦地と中山間地の面積割合は、20%と80%程である。この環境で特に中山間地の高齢化問題は喫緊の課題といえる。議会としても、本年度の議会報告会で各地区の皆様より色々な意見を伺ったが、未だ結論に至っていないところである。

一方で農業委員会としては①優良農地の確保を行いながら、次世代へ後継していく計画②認定農業者への農地の集積化など重要な課題として取り組んでいる。

今後、耕作放棄地でのソーラー発電事業や水路で発電させる小水路発電事業など知恵を絞って対策を考えていく事も重要である。ただ後継者が育っていないのも事実である。農業を専業でやれない一つの理由に、経済的な問題があるので、農家で生活していけるように方向性を見極めながら検討していく必要がある。

2) 耕作放棄地解消への協力は

農地の有効活用について、毎年アンケート調査を行っている。JAが主体となって、中山間地で20～30㌔規模、平地では10～20㌔規模の集積農地を募っている。ある程度集積出来れば貸付を希望する者へ仲介を行うとされている。農業委員会に対する土地活用に関する相談としては、人手をかけにくい僻地など困難である場合が多い。個別補償が無くなれば、平地に比べて中山間地はこれまで以上に難しくなる。七滝地区でも280戸のうち専業農家は3件だけになった。非常に厳しい状況である。中山間地では耕作放棄地が増加の一途であり、後継者が無く、とても厳しい状況である。

【御船町の耕作放棄地の現状】

22年度より農地利用状況調査が開始され、今年度も10月21日までの状況を耕作放棄地の把握(表参照)のために実施した。荒廃農地について、直接連絡を取りながら貸し手と借り手の仲介をしている。使えない土地や放棄地は条件が厳しく、借り手に不利な場合が多い。

耕作放棄解消面積(農地利用状況調査)より(平成23年10月21日現在)			
調査年度	耕作放棄地面積(ha)	解消面積(ha)	内 訳(m ²)
H22年度	227	11.36	国事業 6,800 県事業 106,858
H23年度	15.5	1.60	国事業 11,176 県事業 4,846

耕作放棄地面積内訳(平成23年10月21日現在)

調査年度	耕作放棄地面積(ha)	平坦部(ha)	平坦部(ha)
H22年度	227	65.71	161.93



あいさつをする農業委員会 宮木力会長

3) 農業委員の女性登用は

御船町では、これまで2名の女性委員を推薦または選任してきた。来年が改選時期であり、1月17日が改選となる。今年の5月の全国大会でも是非、各市町村でも女性農業委員を選出するようといわれているので、御船町議会から最低でも2名は推薦戴きたい。

上益城郡内女性農業委員状況(平成23年10月21日現在)

	御船町	嘉島町	益城町	甲佐町	山都町
農業委員数 (女性委員数)	20 (2)	16 (0)	20 (2)	20 (2)	32 (3)

4) 平坦部会の課題は

3年前から放棄農作地の問題と農地集約の問題に取り組んでいる。矢形川護岸の100㌔程を集約に取り組み、JAと農業委員や事務局と一緒にあって各地区にアンケート調査を実施している。各地区に若い認定農家もいるので農地集約を進めていく。平坦部での基盤整備は進んでいるが山間部は厳しい。

5) 中山間部会の課題は

4つの取り組みとして、①放棄地への防止対策②優良農地の保全対策③特定農山村創業支援事業④勉強会などに取り組んできた。それぞれの取り組みの中で課題はある。前向きに取り組んでいる。

開成町の自治基本条例など 他 町 村 に 学 ぶ

平成23年9月26日(月)～28日(水)に議員研修を行った。

1日目は神奈川県開成町のあじさい自治基本条例について研修した。2日目は長野県川上村のレタス生産日本一の取組み、路線バスとスクールバス兼用の取組み及び医療費削減の取組みについて研修した。最終日は国会議事堂の視察を行い県選出の園田博之衆議院議員より国政の動向など話を伺った。今回の研修で得たものを御船町の町政に反映できるように提言していきたい。山本町長も研修に同行した。各常任委員会から報告する。

神奈川県開成町

子どもが健やかに育つ
環境にしたい
…自治基本条例をつくる

総務常任委員会 委員長 池田浩二

9月26日(月)
午後1時30分より
神奈川県開成町において、「あじさいの町開成自治基本条例」の制定の取組みについて研修を行った。

開成町からは、開成町議会議長、副町長、行政推進部長、企画政策課長が出席された。

条例を制定する理由は、町民が自治運営に参加する権利を保障することができ、町民のニーズに反映した町民との協働による行政を推進し、行政運営の基本方針が明確化できることであった。

検討体制については、平成18年度から平成19年度の2年間で制定し、素案づくり前から広く町民の意



御船町でも自治基本条例制定に向け始動
(職員によるワールドカフェ)

見を募集し全町的な取組みとして推進。検討委員会(町職員で構成)は2年間で13回、策定委員会(住民で構成)は15回の討議を重ねた。

このように、お互いに検討、報告し自治基本条例ができた。

検討過程においては、多様な町民層の意見を聞くため、多くの機会を設けた。

条例の特徴としては、住民が中心になって作成したということだ。開成町は、子どもの人口が多いことを踏まえて、「子どもが健やかに育つ環境」などについて条例で規定している。



開成町あじさい自治基本条例の説明に熱心に耳をかたむける

健康・生きがい・安心して暮らせます

民生文教常任委員会 委員長 佐藤俊明

長野県川上村

9月28日(水)午後1時から長野県川上村での視察研修を行った。川上村は群馬県・埼玉県・山梨県に隣接する山間部の農村で人口約4,800人である。

急速に進展する高齢化社会や高福祉社会に対応する介護支援や福祉等の推進施設として、「保健福祉施設ヘルシーパークかわかみ」が平成10年11月にオープンした。

この施設は、川上村のヘルシーパーク構想による福祉、保健、医療の総合拠点施設となっている。

無料で入れる湯も

建物は3階建てで、1階には村民広場やエントランスホール、軽食談話コーナーがある。大浴場や中浴場とリラクゼーション施設もある。2階にはベイウインドーからフィットネスやエアロビクスなどと機能訓練室、運動指導室がある。保健予防指導部門と健康指導部門もある。3階には高齢者福祉部門の高齢者憩いの湯(65歳以上は無料)などがある。

毎日全体打ち合わせを行う

保険と福祉と医療の総合施設であ

るため毎日午後4時から各部署が集まり全体打ち合わせを行うことで、新規の相談者や各種申請、サービスの調整ができる。3機関が顔の見える関係を築くことでサービス開始も早くなる。

建物の成功

一本の廊下で診療所と中央棟、デイサービス、生きがいふれあいセンターが繋がっていることで外に出なくても済む。床暖房でスリッパ不要であり、高齢者や幼児に優しく安全となっている。

路線バスとスクールバス 村営で一体運営

川上村では、路線バスと専用スクールバスともに村営で運行している。専用スクールバスは、空き時間には路線バスとしても活用している。また児童生徒は専用スクー

ルバスだけでなく、路線バスも登下校に利用している。現在、専用スクールバスは2台、路線バス2台の合計4台が運行しており、67名が利用している。

もともと民間会社が一日7往復運行していたが撤退の申し入れを受け、村営バスとして代替運行することを昭和57年に決めたものである。

混乗方式を導入し特別会計で管理

路線バス運行とスクールバス運行を、普通会計に属する特別会計として一括管理することとし、スクールバス運行費用相当分を一般会計教育費から特別会計に繰り出すこととした。



保健福祉施設ヘルシーパークかわかみで説明を受ける

川上村は、千曲川の源流を有し、水と冷涼な気候による高原野菜の生産が基幹産業であり、レタスの生産量は日本一を誇っている。

約600戸の農家があり、内378戸の農家には農業技術取得のために各2～3名の外国人実習生を受け入れていた。

農業後継者は非常に若く平均年齢は29歳。農業従事者の平均年齢も52歳。40歳までの消防団員が定数ちょうど300名という後継者の定着率の高い村であった。

基幹産業であるレタスの栽培が順調で、平均的な農家は年間収入が2,500万円以上あるらしい。

若者(後継者)の定住化の要因は高所得らしいが、最後に執行部に若者の結婚について質問すると、「所得が安定して生活が満足している状況で、婚活が進んでいない事が今の不安材料である」との回答であった。

結婚観については、田舎も都会も同じような感想だった。



レタス畑に興味しんしん

長野県川上村
産業建設常任委員会 副委員長 増田安至
レタスで
年収2,500万円
：若い後継者



子どもに継続的な参画の場を

今回、ひとつの提案を。

「毎年、御船町内の小学6年生の中から、正式な議員を選出します。」

議員ですから当然、報酬を支給します。ただし、研究と報告の義務を課します。議員は、自分たちが住みたい御船町について研究し、その実現に向けて「リアル10年プロジェクト会議」を立ち上げます。研究していく中で、具現化への障害を取り除くために何が必要かを認識し、それについての専門的な研究に取り組みます。農業、法律、建築、福祉、文化など様々な分野を専門的に研究するため、町は議員を高校や大学、地方自治の団体、外国などへ出向、有給で派遣します。8年後からの成人式では、毎年「10（テン）プロ」の報告。10年後から当年度の最終報告を行います。

当然の事ですが、そこにいわゆる「大人の事情」は介入させません。

外部講師やコンサルタントも必要ですが、彼らの役目は具現化に向けてのサポートであり、目標を作るのはいうまでもなく御船町民です。もつといえ、10年後、20年後、御船町に住む今の子どもたちです。

子どもたちに『もつと学び自ら考える時間と場所』を与えましょう。そして、われわれ大人は、法律や条例さえ変えてやるという意気込みで子どもたちと向き合いたしましょう。

「自ら学び立案したものを自分たちの手で具現化していく。」

議会として、それをサポート出来るシステムづくりに取り組まれることを願います。



六丁目
境 憲光 さん

がんばれ！

児湯郡 広がれ議会活性化の輪

議長 岩田重成

10月21日宮崎県児湯郡市町村議会議員研修会に、微力ながら講師として迎えられ、議会報告会や通年議会などの取組みについて話をする機会をいただいた。約100人の参加があった。熱心な質疑があり90分の研修会は大盛況のうちに幕を閉じた。我が町議会の取組みをひとつでも役立ててもらい実行していただければありがたい。

宮崎県児湯郡は宮崎県の中部に

位置し川南町、木城町、新富町、高鍋町、都農町及び西米良村からなる。（研修会は西都市も参加）畜産が盛んな地域だが、去年は口蹄疫問題で大変苦慮された。現在は、その経験を活かし防疫に細心の注意をされている。

食べ物もお酒もおいしい児湯郡。ぜひ、また訪れたい。



御船町議会の取り組みを熱弁

議会の予定

12月

1日 産業建設常任委員会視察研修
5日 全員協議会
8日 議会

12日 議会
16日 新議員研修
20日 宮城県大和町議会視察受入れ

編集後記

夏に雨の影響で二度も延期になった御船町の花火大会が11月13日に開催された。秋風を心地よく感じながら澄んだ空気の中での花火大会には町内外の見物客から歓声が何度も上がっていた。夏の花火大会では見られない光景である。

さて議会広報委員会のメンバーは自治会館で行われた広報研修会に全員参加した。今回は広報クリニックもお願いしてあったのでプロの目線から助言を受けることができた。写真の撮り方やコメントの付け方、レイアウトなど今後の広報誌作りに大変役立つ研修会であった。これからも御船町議会だからできる広報誌作りを目指し、広く町民に愛される議会だよりとしたい。

(田上 忍)

議会広報編集常任委員会

発行責任者 岩田 重成
委員長 田上 忍
副委員長 山田 五郎
委員 佐藤 俊明
委員 田中 隆敏
委員 永山 和人
委員 増田 安至